

キツネノマゴ



ハキダメギク



キツネノマゴ (狐の孫)
キツネノマゴ科キツネノマゴ属
高さ 10-40 cm の 1 年草。穂状の花穂を狐の尻尾に見立て、花が小さいことが名前の由来です。花は唇形で長さ約 8 mm、2 本の雄しべと 1 本の雌しべが上唇についています。1 つの花穂で同時に咲く花は 1-3 個で、順に咲いていくため長い期間花が見られます。

ハキダメギク (掃溜菊)
キク科ガクビソウ属
東京の世田谷のはきだめで初めて見つかったことが名前の由来で、牧野富太郎が命名した北アメリカ原産の帰化植物です。高さ 15-60 cm、花の直径は約 5 mm と小さいですが、黄色の多数の筒状花の外側に 5 個の舌状花が並び、キク科の花の特徴を示しています。



10 月に見られる花

リンドウ・フジバカマ・イヌタデ・ノダケ・ゲンノショウコ・オケラ・ノブキ・コウヤボウキなど。

